
ReaL

小西祐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

R e a l

【Nコード】

N 5 9 9 8 F

【作者名】

小西祐

【あらすじ】

高校に入ってから思い始めた。本当の友達って何？

プロローグ

友達？

たくさんいるよ。

今をちゃんと生きてるって？

・・・多分。

でも、

本当の友達ってなんだろう？

別にそんなのどうでもいいよ。

毎日、

学校に行って、遊んで、家に帰って。

そんな毎日。

でも、本当にそんな繰り返しでいいのか？
自分でもわかる。

そんなんじゃないんだ。

自分でなんか変えなきゃって。

でもそれが出来ないから思うんだろうな・・・。

たまに

そんなことを思う。

一話

『キーンコーンカーンコーン』

「隆平授業終わったぞ！」

「いつまで寝てんだ！」

？

啓太が声をかけてきた。授業は終わったみたいだ。

昼休みに入っていて、周りのやつらは昼飯を食べている。

20分くらい寝てたかな？現代社会なんか勉強しても意味ないし。

「わかってるよ・・・」

寝起きで不機嫌な声を出しながら、

小さく息を吐いていすから立ち上がった。

高校生活が始まって約二ヶ月。

高校生活にも慣れてクラスのやつらとも仲良くなった。

ほかのクラスにも仲いい奴はいるけど・・・。

「次の授業は？」

まだ、俺の声は低く不機嫌なままだ。

「現文」

「・・・寝れないな」

「まだ寝るつもりかよ！」

啓太はあきれたような声で言った。

「こんなやつにテストで負けてる俺っていったい・・・」

啓太とはよくテストの点で勝負をする。

ほとんど俺が勝つのだが・・・

俺は毎時間のように寝ているがちゃんと勉強してるし、テストの点も取っていた。

勉強してるといっても、テスト一週間前からだけど・

・
・
・

結局俺は昼飯を食べ終わっては寝て、その後の授業も寝てばかりだった。

『キーンコーンカーンコーン』

帰りのSTが終わり、

部活へとみんな行こうとしていた、

まあ俺と啓太は帰宅部なのでそのまま家へ帰るのだが・・・

・
・
・

「啓太悪い・・・、教室に忘れ物したわ。先帰ってて」

「ついて行こうか？」

「いい。一人で行くわ」

俺は自転車をおいて一人教室へ帰っていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5998f/>

ReaL

2010年10月10日20時44分発行